



# 自律と共生

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 4月号 文責 校長

## 令和8年度、スタート！

新しい年度が始まります。

本年度も、本校教育活動へのご理解・ご協力、そして前向きなご指摘をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度の修了式で、

「春休みに、修了証をお家の人としっかり読み、次の学年のめあてを設定する準備をしておく」

という話をしました。

めあてを設定する際には、

「学校を休まない」「読書〇〇冊！」

「宿題を忘れない」「あいさつをする」

「1日一つ以上いいことをする」

「お家のお手伝いをする」「毎日縄跳び運動」等々、一定期間続けてやってみて、振り返りができるものがないと思います。

めあては、始業や新学期などの節目を迎える際、心と体を動かすエネルギーのひとつとなります。

私のめあては、今のところ

「毎日、子ども達の笑顔をたくさん見る」に設定しています。

遊びを楽しんで嬉々としている笑顔  
先生方にほめられて照れ笑いする顔  
友達や仲間と楽しく学んでいる顔  
保護者の方と談笑している姿 等々、

口角が上がる瞬間をカウントします。

何千回、何万回、何億回になるのか、毎日楽しみにしています。

たくさんの笑顔に出会えるよう、ご家庭でもご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

## 自律と共生

学校だよりの標題を変えました。

昨年度の流れからすると、

「ふうの木のある学校からⅢ」

とするところですが、学校経営ビジョンが見えにくいというご指摘があったので、変えました。

昨年度末あたりから、西小の子ども達の課題を洗い出す作業をしていて、校長として考え抜いた結果、上記の言葉にしました。

「自分で考え判断し行動すること」や「多様な人々と協力していくこと」は将来を担う子ども達にとって、今や喫緊の課題となっています。

そのためには、西小でも「自分で自分をコントロールする力（自律）」「障がい等の違いを超えて共に関わり合う力（共生）」の基礎を身に付けさせることに重点を置く必要があると考えたわけです。

「自律」の例としては、まじめに学びに向かう姿勢、ねばり強く努力すること、きまりやマナーを守ること等になるでしょうか？

「共生」ならば、他者を思いやること、違いを認め合うこと、いじめや差別を許さないこと等を想定しています。

毎年のように、学年や学級、子どもたち一人ひとり実態に応じて指導支援してきていることですが、なかなか解消できないのが実情です。

本年度は、手立て等を工夫し、じっくり時間をかけて取り組んでいきます。

学校は小さな社会。よいことも、そうでないことも起こる可能性があります。

ご家庭での「ひと手間」「ひと言」が大きな戦力になりますので、皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

## うるさいくらいの「あいさつ」

先月、卒業式の保護者代表あいさつ。  
とても感銘を受けました。

「チャッピー？(AI)」の話も面白かったのですが、より興味深かったのは「あいさつ」の部分でした。

「お前は、何度も うるさい(あいさつが)！」と周囲に言われながらも、そのおかげで名前を憶えられたり、可愛がられたりしたこと。

そして、その経験が今でも生かされ、仕事や人間関係づくりに役立っているとのこと。

私も、高校時代に寮生活をしていた時、先輩を見つけたら、たとえ100m先にいても大声であいさつをするという寮内ルールで鍛えられました。

おかげで、学生時代のアルバイトや就職してからの教員生活等において役立ったことは言うまでもありません。

時代が違うといえ、そこまでの話ですが、「あいさつは、コミュニケーションの第一歩」とは、皆さんもご存知のフレーズですね。

「うるさい」とは言われなくても、地域や学校、家庭で、「あいさつ」がもっと響き合う手立てはないのか？と考えさせられた出来事でした。

## 特別支援教育の充実

本年度の学校経営方針の重点のひとつに、特別支援教育の充実を取り上げました。

支援の必要なお子さんが増加傾向にある中、通級指導教室を新設し、大型連休明けくらいから指導に稼働する見込みです。

また、障がいや違いを超えて共に学んでいく大切さを子ども達に再度理解してもらう手立てを講じていきます。

## 本校でも起こる可能性

京都での小学生行方不明の事案。  
どのように受け止められているでしょうか？

卒業式に参加するため、保護者の車から降りてから、行方が分かっていません。

本校でも、学校敷地内で送迎の車から降りてはいるが、校舎に入るまで見届けられてないのでは？「遅刻する」と連絡のあったお子さんが、独りで登校していることが常態化している、という指摘がありました。

この時間帯、職員は教室や校舎内で、健康観察の時点で連絡のない児童への出欠確認や提出物の確認等を行っていますので、それ以上の対応ができません。

まさに魔の時間帯。子どもさんの安全管理を行うには、学校だけは難しいことが露呈した事案でもあります。

こういった事件事故の未然防止のためにも、送迎時の見届け、集団登校に遅れない、独り登校させないことについて、ご理解とご協力をお願いします。

## 事務室について

どの仕事もそうですが、年度当初はとても慌ただしく、特にお金に関わる部署は、金融機関との連絡や関係部署との細かな調整が必要です。

本校の事務室も、大量の個人情報を預かり、子ども達が円滑に学校生活を送れるようするための手続き等に多忙を極めます。

つまり、事務作業が滞ると、学校運営ができなくなるのです。

例年、様々な電話連絡や忘れ物の届けがあり、そのために事務作業ができない事案も起こっています。

全ての電話・忘れ物届けについて、控えていただきたいとは言いませんが、事務室は、学校の心臓部であると、お心得おきください。